

2019 年度事業報告

(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

東海市民社会ネットワーク

2019 年度は従来の活動資金としてきた地球環境基金事業予算がないため、構成団体と連携した事業の実施と組織基盤強化を図った。

1 総会・市民サミット 3 周年記念事業

(1) 総会

6 月 15 日 (土) 10:30 - 12:00 四日市市文化会館 第 3 会議室

提言書の検証、規約の改正

(2) 市民サミット 3 周年記念事業「SDGs と市民協働」

6 月 15 日 (土) 13:00-16:00 四日市文化会館 第 3 ホール

・「市民の伊勢志摩サミット」提言書の検証

・SDGs の先進的な取組みから学ぶ

(1) 自治体：「滋賀×SDGs SDGs の普及と視点の活用について」

講師 滋賀県総合企画部企画調整課 参事 馬場康宏

(2) 企業：「中小企業にできる SDGs～名古屋青年会議所での取組み事例～」

講師 有限会社山本屋 専務取締役

公益社団法人名古屋青年会議所 SDGs 実践委員会 青木裕典 様

・グループ討論 「協働で実現する SDGs」 & まとめ

2 会員団体が推進する活動を、SDGs の分野間連携の促進と、政策対話・政策協働に結び付ける活動

(1) G20 外相会合に向けてのシンポジウム「民主主義の危機は世界共通の課題」

～市民社会スペース縮減の時代から SDGs ゴール 16 達成に向けて～(11月 16 日 名古屋市)

主催 東海市民社会ネットワーク、NPO 法人泉京・垂井

NPO 法人地域の未来・志援センター、NPO 法人名古屋 NGO センター

内容 基調講演 『多国間会議における市民社会スペースの確保～C20 の経験から～』

講師 三輪 敦子 さん

G20 大阪市民サミットからのメッセージ

市民活動と政策環境・討論

*11 月 21 日に外務省の G20 外相会議担当者と 30 分程度面談し、市民社会スペースについての政策提言を行った。

(2) 山川里海情報交流会・グリーン連合シンポジウム (2 月 8 日 垂井町)

主催 グリーン連合、一般財団法人セブン・イレブン記念財団

NPO 法人泉京・垂井、NPO 法人地域の未来・志援センター、愛知・川の会

協力 東海市民社会ネットワークほか

内容 AM SDGs×流域思考 未来創造プログラム成果発表

東海3県の若手実践者の取組み発表

PM グリーン連合シンポジウム（活動家のラウンドテーブル）

*東海市民ネットから松井幹事が参加。「政策対話・政策協働」の立場から発言

(3) SDGsコミュニティづくりフォーラム（2月28日 名古屋市）

主催 一般社団法人SDGsコミュニティ

共催 東海市民社会ネットワーク

内容 「市民社会がSDGsをけん引していくためには何が必要か」の討論

*東海市民ネットメンバーが4名発言

(4) 水×SDGs学習会（3月21日 津市）→ 新型コロナウイルスの感染予防のため中止

主催 三重県環境学習情報センター

共催 東海市民社会ネットワーク

*神田幹事が問題提起、三重県職員から三重県の水環境の報告

3 次年度の地球環境基金の申請

「流域思考による『誰一人取り残さない』水害防災体制の構築とその普及啓発」

不採択

4 G20大阪市民サミット（6月25,26日）への参画

「地域から世界へ：住民主体の政策立案・政策協働をめざして」分科会を担当

5 会員相互の日常的な情報交換の場づくり

① ホームページ <https://tokaicn.org/>

② メールングリスト

会員用を整備

③ メルマガ

佐久間幹事の提案によりスタート（佐久間幹事担当）